

心の中の陰に光を当てる日

立春の前日、季節の分かれ目にあたる節分は、古いものを手放し、新しい時を迎えるための節目の日です。

「鬼は外、福は内」と声を出して豆をまくのは、**災いを遠ざけ、幸せを呼び込むという願いが込められています。**昔の人は、病や天災など「**人の力では防ぎきれない出来事**」を鬼のしわざと考えました。

けれども本当に向き合うべき存在は、**私たちの内側にもあります。**怒り、ねたみ、あきらめ、怠け心

それらは「**心にひそむ影**」のようなものです。

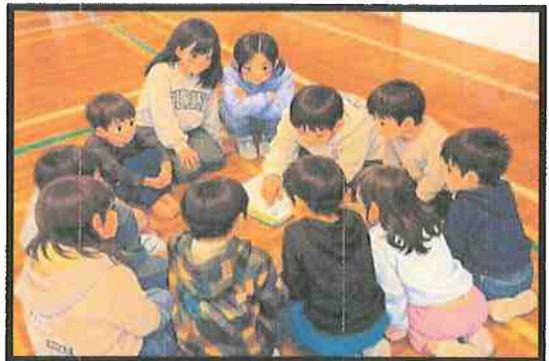
節分は、その影に気づき、手放すきっかけの日とも言えるでしょう。実際に豆をまく行為は、「**弱さを追い出し、希望を招き入れる**」という決意を形にする時間です。

心の中を整え、「**温かな思い**」で満たしていく。そうすれば、新しい季節をまつすぐな気持ちで迎えられます。

今日の言霊 心の陰に光を

季節の変わり目に行われる行事には、単なる伝統以上の意味があります。

昔の人々は、病気や自然災害のように避けがたい出来事を象徴的な存在で表しました。それは、**説明のつかない出来事に向き合うための知恵**でもあります。



同時に、この行事は外の出来事だけでなく、**自分の内面を見つめ直す機会**でもあります。

腹立たしさやあきらめ、不満といった感情をそのままにしておくと、人間関係や行動に影響します。だからこそ、**区切りの日に気持ちを整理することが大切**です。

声を出し、動作を伴って行うことで、**自分の中で「切り替える」意識**が生まれます。新しい季節をより良く生きるための、心の準備の日なのです。

【今回の学び】⇒区切りは成長のチャンス！

心の中の陰に光を当てる日

立春の前日、季節の分かれ目にあたる節分は、古いものを手放し、新しい時を迎えるための節目の日です。

「鬼は外、福は内」と声を出して豆をまくのは、災いを遠ざけ、幸せを呼び込むという願いが込められています。昔の人は、病や天災など「人の力では防ぎきれない出来事」を鬼のしわざと考えました。

けれども本当に向き合うべき存在は、**私たちの内側**にもあります。怒り、ねたみ、あきらめ、怠け心

それらは「**心にひそむ影**」のようなものです。

節分は、その影に気づき、手放すきっかけの日とも言えるでしょう。実際に豆をまく行為は、「**弱さを追い出し、希望を招き入れる**」という決意を形にする時間です。

心の中を整え、「**温かな思い**」で満たしていく。そうすれば、新しい季節をまつすぐな気持ちで迎えられるます。

今日の言霊 心の陰に光を

★問一（漢字・語句） 文中の「怠け心」の意味として、最も適切なものを選びなさい。

ア 努力を続けようとする気持ち

イ 他人を思いやる心

ウ やるべきことをせず楽をしようとする気持ち

エ 失敗を恐れる気持ち

★問二（選択） 本文によると、昔の人が「鬼」と考えていたものはどれか。

ア 自分の心の弱さ

イ 病や天災など人の力で防げない出来事

ウ 悪い人間の存在

エ 冬の寒さ

★問三（選択） 本文で述べられている「心にひそむ影」とは何を指しているか。

ア 夜の暗さ

イ 過去の思い出

ウ 怒りやねたみなどの弱い心

エ 他人の失敗

★問四（選択） 本文の内容として最も適切なものはどれか。

ア 節分は昔の迷信である

イ 豆まきは遊びとして行う行事である

ウ 節分は心の弱さに向き合う機会である

エ 鬼は実在する存在である

★問五（記述） 本文を踏まえて、「心の陰に光を当てる」とはどういうことか説明しなさい。（40字程度）

模範解答・解説

★問一 模範解答 ウ

○解説④ 「怠け心」は、やるべきことを後回しにし、楽をしようとする弱い気持ちを指す。本文では、怒りやねたみと並べて、心の中の影として示されている。

★問二 模範解答 イ

○解説④ 本文には、昔の人は病や天災など、人の力で防ぎきれない出来事を鬼のしわざと考えたとある。本文の事実部分を正確に読み取るのが大切である。

★問三 模範解答 ウ

○解説④ 「心にひそむ影」とは、怒りやねたみ、あきらめ、怠け心などの内面的な弱さを指す比喻表現である。具体例が直前に示されている点に注目する。

★問四 模範解答 ウ

○解説④ 本文では、節分を心の弱さに気づき、手放すきつかけの日と述べている。単なる行事ではなく、心を整える機会として捉えている点が重要である。

★問五(記述) 模範解答(例)

自分の弱さや悪い心に気づき、それを改めようとすること。

○解説④ 「光を当てる」は、弱さに気づき、見つめ直すことの比喻である。弱い心を追い出し、希望や温かな思いで満たすという本文の流れを意識してまとめる。

季節の変わり目に行われる行事には、単なる伝統以上の意味があります。

昔の人々は、病気や自然災害のように避けがたい出来事を象徴的な存在で表しました。それは、**説明のつかない出来事に向き合うための知恵**でもあります。



同時に、この行事は外の出来事だけでなく、**自分の内面を見つめ直す機会**でもあります。

腹立たしさやあきらめ、不満といった感情をそのままにしておくと、人間関係や行動に影響します。だからこそ、**区切りの日に気持ちを整理することが大切**です。

声を出し、動作を伴って行うことで、**自分の中で「切り替える」意識**が生まれます。新しい季節をより良く生きるための、心の準備の日なのです。

【今回の学び】⇒区切りは成長のチャンス！